

街に行く

第123回 渋谷 Shibuya

ちょっと残念!? 生まれ変わった渋谷・宮下公園

緊急事態宣言解除となるも、引き続き心配ではあります。これまで数か月間続けてきた「街に行けない」シリーズをもう少し続けようとも考えましたが、読者の熱い期待にお応えしたく、皆さんに元気を出ることを期待しつつ「街に行く」を復活します。感染対策を万全に、用心に用心を重ね、街を訪ねることを再開しました。その第一弾は「渋谷」です。

現下コロナ禍で何かとマスコミに目をつけられるがちなこの街ですが、ビジネスエリアとしてはITバブル、Techブームの波に乗り成功を収めた「アントレプレナー（起業家）の聖地」です。当然オフィスビルは高額な賃料水準を誇っていました。しかしこれからは違うかもしれません。中心入居者層のIT企業経営者は柔軟な発想と決断力の持ち主。率先してテレワーク化を推進し、地方へのオフィス移転や事業拠点そのものを持たない体制構築など、従来の常識に囚われない新しい流れが出てきました。これは一過性のものではなく、新ワークスタイルとして常態化てくるようにも思います。「ビジネスは相手と会わないと何も始まらない」というのは小生も含め、もはや“オジサンの発想”となるかもしれません。

さて今回、渋谷の街を歩くお目当ては都市型商業施設「MIYASHITA PARK」こと旧・宮下公園です。渋谷のヘソとも言える公園の様変わりは、皆さんも感慨深いものがあったのではないかですか。小生は若かりし頃、渋谷で痛飲した後は大抵この公園で酔いを覚ましたものです。新しい商業施設は、ブ



1階にいわゆる屋台村を配した懐かしくも新鮮な都市型商業施設

ランドショップやレストラン&カフェが出揃い、屋上にスケートリンクやボルタリング場、極めつけはビーチバレーコートまであります。それぞれオシャレかつ相当マニアックな設備を揃えたものだと感心しました。ただし、首をかしげたのは1階フロア渋谷横丁の「食市」です。簡単に言うと沖縄から北海道まで地域色を打ち出した居酒屋の“群れ”です。なぜ居酒屋なのですかね？むかし周辺にそんなお店がわんさとあったから、というのは解かりますが、「今更か？」という感想を持ちました。

そもそも“PARK”なのですから、そのニュアンスを活かし健康志向の施設であるべきではないでしょうか。複合商業施設は何かと言えば屋台村、食と酒による夜の集客を見込みがちですが、このコロナ禍で見直しを迫られる気がします。もちろん居酒屋が悪いとは言いません、正直小生も好きですから。しかし、これからはライフスタイルを考

えると、都市のど真ん中には何が必要なのか、と考えさせられます。人の行動範囲も、時間の使い方や娯楽そのものも変わるでしょう。ハコをつくり、人気ブランドやカフェ・レストランを取り揃え、それらの吸引力で集客を見込むといった発想はちょっと変化がなさすぎですよ。それならば整備された安全な公園だけで十分と思うのですが。

南一弘



1982年大学卒業後、三井不動産販売に入社。ローンスター・ジャパン・アクイジションズを経て、2001年エース・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。2005年4月MID都市開発（旧松下興産）の代表取締役に就任。2006年ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役に就任。